

第 8 期

SIF-Japan定例理事会・定例総会

平成23年3月1日開催

(内容書類一覧)

理事会・総会 議事次第

第7期 事業報告・収支決算

第8期 事業計画案・収支予算案

役員選出資料

運営委員一覧

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)

第7期 事業報告・収支決算

自 平成 22 年 1 月 1 日
至 平成 22 年 12 月 31 日

事 業 報 告 書

財 産 目 録

賃 借 対 照 表

収 支 計 算 書

収支実績予算対照表

特定非営利活動法人
社会的責任投資フォーラム

平成 22 年度 事業報告書

平成 22 年 1 月 1 日から 22 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム
(SIF-Japan)

当フォーラム（以下 SIF-Japan という）の事業は、会員による年会費や協賛等の様々な形のご支援、役員、運営委員、Students による無償の活動によって実施され、以下の成果を挙げる事ができた。

1. 会員動向

22 年度の会員在籍数と入退会、役員、運営委員、Students 在籍数は以下の通りである。経済情勢が依然厳しい中ではあるが、法人会員 4 社増、個人会員は退会者 17 名のうち、2 年以上の会費滞納による退会処分者が 8 名、全体で 1 名減。

< 会員 > （在籍者ベース：期首の数字は、2 年以上会費未納者を含む）

種 別	期 首	入 会	退 会	期 末
金融機関 ()	6	2 *1	0	8
金融機関 ()	0	0	0	0
金融機関 ()	1	1 *2	0	2
金融機関 ()	0	0	0	0
一般企業	3	1 *3	0	4
公的・中間機関	6	0	0	6
NPO/NGO	4	0	1 *4	3
個 人	100	16	17	99
(内、学生)	(9)	(2)	(1)	(10)
合 計	119	20	18	122
役 職	期 首	就 任	退 任	期 末
役 員	18	0	0	18
運営委員	18	2	0	20
Students	11	0	0	11

*1 日興アセットマネジメント㈱、ニッセイアセットマネジメント㈱入会

*2 CSR デザイン環境投資顧問㈱入会

*3 ブルームバーグ入会

*4 NPO 法人ソーシャルコンシェルジュ退会。

金融機関 () ...金融ホールディングカンパニー及び、以下 () ~ () 以外

金融機関 () ...地方銀行

金融機関 () ...投資信託委託・投資顧問・投資会社・信用金庫単独

金融機関 () ...信用組合

< 法人・団体会員内訳 > * 期末在籍、入会順

【プレミアム法人会員】

- ・ 株式会社クレアン
- ・ 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
- ・ 株式会社大和証券グループ本社
- ・ 住友信託銀行株式会社
- ・ 株式会社インテグレックス
- ・ ブルームバーグ・エル・ピー
- ・ 株式会社三井住友銀行
- ・ 日興アセットマネジメント株式会社
- ・ ニッセイアセットマネジメント株式会社

【一般法人会員】

- ・ 株式会社日本政策投資銀行
- ・ 株式会社 Y A M A T O
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ NPO 法人エティック
- ・ KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- ・ 一般社団法人自然エネルギー市民基金
- ・ 株式会社損害保険ジャパン
- ・ 株式会社あらたサステナビリティ認証機構
- ・ Carbon Disclosure Project
- ・ 有限責任監査法人トーマツ
- ・ Responsible Investment Unit - FTSE Group
- ・ 財団法人日本経済研究所
- ・ 社団法人投資信託協会
- ・ CSR デザイン環境投資顧問株式会社

2. 平成 22 年度事業報告

事業展開については事業計画に沿って活動を実施し以下の実績を挙げることが出来た。

「日本 SRI 年報 2009」発刊にあたり、会員企業初め、全 8 社より計 110 万円の協賛を得ることができた。また、発刊の告知も従来の HP やメルマガのみならず、専門誌「商事法務」でも記事に取り上げて頂いた。その他イベント開催については、法人会員初め企業のご好意を得て会場提供をしていただくなど、多くのご協力を得られた上での実現だった。

(1) 勉強会

多方面に亘るテーマで 4 回開催。

開催会場については今年度も主に法人プレミアム会員の和証券グループ本社様より大和コンファレンスホール(八重洲北口)を無償提供いただいた他、講師よりご提供いただいた回もあり、いずれも駅直結の交通至便に恵まれた。

開催日、テーマ、講演者、参加者数、収支概算は、別紙「平成 22 年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

事業収入 130 千円 (参加費) 事業支出 81 千円 (講演謝礼、消耗品等)
参加者 延べ 163 名

(2) シンポジウム

「日本 SRI 年報 2009」の発刊記念として、「SRI の意義と日本市場の課題」をテーマに早稲田大学大学院教授の首藤恵氏が基調講演。年報の執筆者による日本の SRI マーケット報告の後、「日本の SRI 市場の現状と課題、そして期待」をテーマにパネルディスカッション。なお会場については、協賛金でもご協力いただいた、株式会社東京証券取引所グループ様より東証ホール(日本橋茅場町)を無償提供願った。

事業収入 108 千円 事業支出 58 千円
参加者 107 名

(3) 早稲田大学大学院ファイナンス学科との提携講座

同学科において見識ある金融人を育成する目的で職業倫理と社会的責任を真正面から取り上げた授業科目として「CSR/SRI 関連」が検討され、その講師派遣について SIF-Japan に協力要請があったものである。SIF-Japan としては事業活動の趣旨にも合致するので対応した。21年度はパイロット講座として4月から7月の土曜日に6回開催、好評であったため、22年度は正式科目として同期間の土曜日に計13回開催された。講師は運営委員・会員が務めたが全て無償であった。終了後の受講生によるアンケートでも概ね好評であった。

事業収入 0 円 事業支出 0 円

(4) ホームページ運営

SRI に関する各種情報の提供として、これまでの SRI 年報データ編の「SRI 純資産残高」等を3, 6, 9, 12月末時点の更新に加え、(株)大和証券様のデータ協力を得て、平成22年9月末分より社会貢献型債券の一覧も発表していくことになった。公募 SRI のデータは多くの企業・団体から引用依頼が多く、活用いただいている。その他会員サービスとして、会員専用ページを創設、会員にのみご案内した ID とパスワードで、過去の勉強会のレジメの自由閲覧、後述の SRI 情報のバックナンバー等、今後もコンテンツを増やして充実させていく予定。また、一昨年末に起きたサーバーのトラブル対策として、安定・トラブル対応のしっかりしたサーバーへ転向した。(これにより料金の返金があり支出がプラスマイナス・ゼロとなった)

事業収入 0 円 事業支出 0 円

(5) メールマガジン

好評だったマスコミレポートは執筆者の都合で残念ながら休刊となっていたが、22年9月より同執筆者の山本運営委員による「SRI 情報」の連載を開始。当面はメルマガ読者対象であるが、ゆくゆくは会員限定で配信予定。

21年11月から開始していた小野島運営委員による連載「金融を変えた8+1人のストーリー～自分の生き方として、倫理観に基いて～」は、予定通り22年9月まで全19回を以て終了。その他、法人会員のFTSEのご好意で、ヨーロッパの経済ビジネス情報サイト「NNAヨーロッパ」に掲載された記事「なぜ今、責任投資なのか」を会員限定希望者に配信サービス。欧州の責任投資の最新動向を伝える内容で、22年4月より開始、全12回で、23年4月終了予定。

事業収入 0 円 事業支出 0 円

配信数 期末現在 1271 通（前年比 - 19.9%・配信時にエラーで戻ってくる無効になつたメールアドレスの大幅な整理をしたため。今年度の新規登録数は 85）

（ 6 ） 金融機関とのコミュニケーション推進

S R I を推進する金融機関(法人会員対象)およびアナリスト(個人会員)を対象としたクローズドな会を金融機関ダイアログの形で立ち上げ、6 回実施。会場については法人会員のご好意で無償提供していただいた。

事業収入 10 千円（参加費） 事業支出 46 千円（講演謝礼、消耗品等）
参加者 延べ 113 名

（ 7 ） S R I 年報（ 2 0 0 9 年版 ） の作成

既刊の「日本の S R I 年報 2007」を全面的に見直し、本格的な年報とすべく SIF-Japan の会員およびそれぞれの分野での第一人者の有志の方々による年報委員会を立ち上げ、日本語版は 22 年 1 月末、英語版は 4 月末に発行された。

なお発行に当たっては以下の各社様より多大の協賛を得、厚くお礼申し上げる。

- ・特別協賛 (株)大和証券本社グループ、F T S E グループ、(株)三井住友銀行
- ・一般協賛 東京証券取引所グループ、(株)KPMG あずさサステナビリティ、
(株)日本政策投資銀行、(株)損害保険ジャパン
- ・情報・データ提供 マーサージャパン
- ・助成金 (財)トラスト 6 0

事業収入 842 千円 (注) S R I 普及・啓発活動収入として 22 年度入金分のみ計上
事業支出 1,091 千円

（ 8 ）(財)トラスト 6 0 助成金

ご支援いただいた助成金のうち、前期より繰越の部分については、「S R I 年報 2009」の印刷費・英語版翻訳料など、年報の作成・発行に充てた。

前期より繰越の助成金残額 1,174 千円

（ 9 ） 法制化研究

十分な活動は出来ず 23 年度に改めて対応を検討する

（ 1 0 ） コミュニティ投資研究

第 36 回定例勉強会のテーマとして「マイクロファイナンス-貧困削減と財務持続性両立への挑戦-」を開催。NPO 法人プラネットファイナンスのプログラム・マネージャーを招いて、マイクロファイナンスの現状、論点について考察した。

事業収入 0 円 事業支出 0 円

以上

平成22年度 勉強会・セミナー開催一覧

参加数は登壇者・スタッフを含む (単位:千円)

回	開催日	テーマ	講師、登壇者	会場	参加人数	会/非会	収入	支出
定例勉強会								
33	H22.4.9	SRI事情・入門編`10 概要: 毎年恒例の人気講座。SRIの歴史から最新事情まで基本的な事柄についてわかり易く解説。また環境問題等、様々な課題に対して金融自身が果たす役割にも言及した。	水口 剛氏 (高崎経済大学経済学部教授、SIF-Japan理事)	環境パートナーシップオフィス「EPO会議室」	55	20/35(人)	41	12
34	H22.8.5	現在のSRI運用、実践の立場から - 朝日ライフアセットマネジメントのSRI運用 - 概要: 日本で最初の純粋なSRIファンド「あすのはね」を2000年の設定当時から運用する立場からの着想や運用実態等をお話しいただいた。	速水 禎氏 (朝日ライフアセットマネジメント株) 資産運用部リサーチチーム SRI運用チーフファンドマネージャー)	大和コンファレンスホール (八重洲)	51	23/28	29	22
35	H22.10.6	CSR(社会的企業責任)からCR(企業責任)へ - 欧州のCSR事情の最前線とCSR評価の再考 - 概要: 戦略的なCSRの活動が盛んな欧州で、企業が普遍的なCSR活動を実務としてどのように取り組んでいるのか、その最新の潮流を理解するのに格好の機会となった。	蟻生 俊夫氏 (財)電力中央研究所社会経済研究所上席研究員) コメンテーター: 河口 真理子氏 (株)大和証券グループ本社広報部CSR課CSR担当部長)	(財)電力中央研究所会議室	37	13/24	45	23
36	H22.11.26	マイクロファイナンス 貧困削減と財務持続性両立への挑戦 概要: さまざまなマイクロファイナンス推進プロジェクトを企画・実施し、より良い発展に役立てるよう活動しているNPO法人プラネットファイナンスのプログラム・マネージャーを招いて、自身が活動したパキスタン、フィリピン等の現場の経験も交えてお話しいただいた。	広瀬 大地氏 (NPO法人プラネットファイナンスジャパン) プログラムマネージャー)	大和コンファレンスホール (八重洲)	30	19/11	15	23

回は設立以来の通算回数

その他イベント								
金融機関ダイアログ								
1	H22.1.27	森林問題と金融機関 - 木材産業、パームオイル産業へのダイアログの観点から - 概要: 川上氏からは「タスマニアとインドネシアの森林伐採問題と日本」について、満田氏からは「パーム油、紙、鉱物資源の生産現場から開発と土地利用転換の諸影響」についてそれぞれ講義いただいた。	川上 豊幸氏 (レインフォレストアクションネットワーク日本代表) 満田 夏花氏 (国際環境NGO FoE Japan)	大和八重洲ビル	20	19/1	5	0
2	H22.2.19	SAM;Stoxx社共同企画 欧州における最近のサステナビリティ投資状況 概要: SAM社のスペシャリストから、先進を行く欧州の最近のサステナビリティ投資の状況や、同社の投資の方法論、サステナビリティ投資のためのベンチマークとなる指数などを紹介いただいた	Rodrigo Amandi氏 (SAM社エグゼクティブアナリスト; SAMサステナビリティ研究所員) 河口 真理子氏 (株)大和証券グループ本社広報部CSR課CSR担当部長)	TKP大手町カンファレンスセンター	28	26/2	0	0
3	H22.3.17	資源開発とSRI 概要: 資源開発の問題をESGの問題を含め様々な角度から調査し、社会に警笛をならしている「メタルウォーズ」の著者で資源ジャーナリストの谷口氏をお迎えし、資源開発の問題について議論した。	谷口 正次氏 (資源・環境ジャーナリスト)	大和証券グループ本社	12	12/0	0	22
4	H22.5.13	非人道的兵器とSRI 概要: クラスタ爆弾禁止条約の最近の動向を踏まえ、非人道的兵器の融資の問題について、(特活)地雷廃絶日本キャンペーン理事でもある目加田氏を迎えて議論した。	目加田 誠子氏 (中央大学総合政策学部教授)	住友信託銀行	20	19/1	2	0
5	H22.5.25	世界の機関投資家&ファンドマネージャーとESGの発展 概要: これまでのResponsible Investorを通して取り上げてきた欧州、米国やアジアでの機関投資家や運用側での動き、取り巻く環境の変化についてお話しいただいた。	Hugh Wheelan氏 (Responsible Investor編集長)	大和証券グループ本社	13	12/1	1	0
6	H22.7.30	連合の社会的責任投資の取り組み 概要: ワーカーズキャピタルの方針作りについて、その背景と現在の状況、今後の考え方、見通しについてお話しいただいた。	竹詰 仁氏 (日本労働組合総連合会 総合政策局生活福祉局 次長)	Bloomberg	20	20/0	2	22

シンポジウム								
H22.4.19		「日本SRI年報2009」発行記念 「日本のSRI市場の現状と課題、そして期待」 概要: 首藤氏の講演…SRIの意義を再考し、日本のSRI市場の現状を踏まえて、日本でSRIはなぜ進まないかを検証し、進めるための具体的な提言をいただいた。 日本のSRIマーケット報告…日本SRI年報2009の執筆者より、年報全体及び各章の報告がされた。 パネルディスカッション…「日本のSRI市場の現状と課題、そして期待」をテーマに、多様なパネリストから示唆に富んだ意見が出て、今後のSRI発展につながるような問題意識の共有がなされた。	【基調講演】「SRIの意義と日本市場の課題」 ・講演者: 首藤恵氏(早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授) 【日本のSRIマーケット報告】(日本SRI年報2009より) ・年報全体報告: 鷹羽美奈子(SIF-J運営委員) ・年報各章報告: 五月女季孝(野村アセットマネジメント株); 寺山恵(マーサージャパン株) 【パネルディスカッション】 ・コーディネーター: 河口真理子氏(株)大和証券グループ本社、SIF-J代表理事) ・パネリスト: 首藤 恵氏 五月女 季孝氏 寺山 恵氏 池上 紗矢香氏(大和証券株)	東証ホール (茅場町)	107	38/69	108	35

22 年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成 22 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科目・摘要	金額 (単位:円)		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	41,984		
普通預金 (三井住友銀行赤坂支店)	250,258		
普通預金 (三菱東京 UFJ 銀行赤坂見附支店)	4,110,403		
流動資産合計		4,402,645	
2 固定資産			
什器備品 (パソコン 3 台)	50,317		
固定資産合計		50,317	
資産合計			4,452,962
負債の部			
1 流動負債			
未払金 (事務所家賃 ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	300,000		
未払金 (印刷経費 ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	18,000		
預り金 (職員に対する源泉所得税)	18,180		
預り金 (報酬に対する源泉所得税)	16,307		
預り金 (職員に対する社会保険料)	64,508		
流動負債合計		416,995	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			416,995
正味財産			4,035,967

22 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 22 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位:円)		科 目	金 額 (単位:円)	
資産の部			負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	41,984		未払金	318,000	
普通預金	4,360,661		預り金	98,995	
流動資産合計		4,402,645	流動負債合計		416,995
2 固定資産			2 固定負債		
什器備品	50,317		固定負債合計		0
固定資産合計		50,317	負債合計		416,995
資産合計		4,452,962	正味財産の部		
			前期繰越正味財産	2,776,662	
			当期正味財産		
			増加額(減少額)	1,259,305	
			正味財産合計		4,035,967
			負債及び正味財産		
			合計		4,452,962

22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位:円)	
経常収入の部		
1 会費収入		
金融機関会費収入	3,600,000	
一般法人会費収入	1,200,000	
公的・中間機関会費収入	700,000	
NPO・NGO 会費収入	20,000	
個人会費収入	716,000	
学生会費収入	35,000	6,271,000
2 事業収入		
勉強会活動収入	140,000	
シンポジウム活動収入	108,000	
SRI 普及・啓発活動収入	842,000	1,090,000
3 雑収入		
受取利息収入	1,175	
その他収入	39,950	41,125
経常収入合計		7,402,125
経常支出の部		
1 事業費		
勉強会活動費用	129,576	
シンポジウム活動費用	57,878	
ホームページ運営活動費用	39,438	
助成事業支出		
SRI 普及・啓発活動費用	1,091,583	
給料手当(事業)	2,028,000	3,346,475
2 管理費		
給料手当	1,092,000	
法定福利費	403,776	
通信費	64,042	
旅費交通費	258,640	
事務用消耗品費	462	
備品消耗品費	1,092	
印刷経費	36,000	
地代家賃	600,000	
支払手数料	19,218	
業務委託費	252,000	2,727,230
経常支出合計		6,073,705
経常収支差額		1,328,420
その他資金収入の部		
1 その他資金収入	0	0
その他資金収入合計		0
その他資金支出の部		
1 その他資金支出	0	0

その他資金支出合計		0
当期収支差額		1,328,420
前期繰越収支差額		2,657,230
次期繰越収支差額		3,985,650
(正味財産増減の部)		
正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額(再掲)	1,328,420	
2 負債減少額	0	
増加額合計		1,328,420
正味財産減少の部		
1 資産減少額		
什器備品減価償却額	69,115	
2 負債増加額	0	
減少額合計		69,115
当期正味財産増加額		1,259,305
前期繰越正味財産額		2,776,662
当期正味財産合計		4,035,967

注記

当法人の会費収入は現金基準によっているため、当期の法人会費収入(金融機関会費収入、一般法人会費収入、公的・中間機関会費収入、NPO・NGO 会費収入)に計上された 5,520,000 円のうち 1,600,000 円は、翌期に係るものを当期に入金を受けたものです。なお、前期の法人会費収入に計上された 2,790,000 円のうちには、当期に係るものはありません。

科目明細表

科 目	明 細	金 額	科 目 計
経常支出の部 1 事業費			
勉強会活動費用	諸謝金 通信費 旅費交通費 備品消耗品費	122,221 3,600 2,720 1,035	129,576
シンポジウム活動費用	諸謝金 通信費 旅費交通費 備品消耗品費 支払手数料 業務委託費	33,333 900 1,940 600 105 21,000	57,878
ホームページ運営活動費用	サーバーレンタル費 支払手数料	38,598 840	39,438
SRI 普及・啓発活動費用	諸謝金 通信費 備品消耗品費 印刷経費 支払手数料	427,448 32,360 525 629,990 1,260	1,091,583

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計収支実績表

平成22年1月1日～平成22年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

(単位:円)

科目	細目	22年度予算額	同実績	差額	備考
経常収入の部					
1.会費収入		4,650,000	6,271,000	1,621,000	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口/9会員)	2,200,000	3,600,000	1,400,000	
()内は、期初在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口/4会員)	1,000,000	1,200,000	200,000	
	公的・中間機関会員(1口10万×1口/6会員)	650,000	700,000	50,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口/3会員)	20,000	20,000	0	
	個人会員(1口1万×1口/100会員)	750,000	716,000	34,000	
	学生会員(1口5千×1口/10会員)	30,000	35,000	5,000	
2.事業収入		1,280,000	1,090,000	190,000	
	勉強会活動	180,000	140,000	40,000	勉強会・金融機関ダイアログ
	シンポジウム活動	300,000	108,000	192,000	
	マイクロファイナンスの研究活動	0	0	0	勉強会を実施
	広報活動収入	0	0	0	
	ホームページ運営収入	100,000	0	100,000	
	SRI普及・啓発活動収入	700,000	842,000	142,000	年報2009の協賛金・販売
3.雑収入		3,000	41,125	38,125	
	受取利息、雑収入	3,000	1,175	1,825	
	その他収入	0	39,950	39,950	サーバー障害の賠償金
経常収入合計(A)		5,933,000	7,402,125	1,469,125	
経常支出の部					
1.事業費		3,650,000	3,346,475	303,525	
SRI研究	勉強会活動	120,000	129,576	9,576	勉強会・金融機関ダイアログ
情報開示促進	シンポジウム活動	200,000	57,878	142,122	東証ホール無償提供(警備代のみ)
	マイクロファイナンスの研究活動	50,000	0	50,000	勉強会を実施
	提携講座(早稲田大学)	50,000	0	50,000	講師料無償で対応
コミュニケーション促進	その他イベント活動	0	0	0	
提言・情報提供・教育啓発等	ホームページ運営	50,000	39,438	10,562	
	メールマガジン運営	0	0	0	
	金融機関とのコミュニケーション推進	100,000	0	100,000	勉強会の項目へ計上
	SRI年報の作成・その他調査・研究	950,000	1,091,583	141,583	年報2009の印刷・翻訳
	学生会活動	50,000	0	50,000	
	給料手当(事業)	2,080,000	2,028,000	52,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		2,680,000	2,727,230	47,230	
事務局運営費	給料手当	1,120,000	1,092,000	28,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	300,000	403,776	103,776	常勤者の社会保険・通勤費について
	旅費交通費	160,000	258,640	98,640	予算額が少なかったため誤差が生じた
	地代家賃	600,000	600,000	0	
	支払手数料・業務委託費	300,000	271,218	28,782	会計事務所、司法書士
	通信・印刷・備品等	200,000	101,596	98,404	
経常支出合計(B)		6,330,000	6,073,705	256,295	
当期収支差額(A)-(B)		397,000	1,328,420	1,725,420	
前期繰越収支差額		2,657,230	2,657,230		
次期繰越収支差額		2,260,230	3,985,650	1,725,420	

法人会費について入金ベースで計上しているため、2期分の会費が計上されている法人があり、予算と実績で大きなズレが生じた。当期の法人会費収入に計上された5,520,000円のうち1,600,000円は、翌期に係るものを当期に入金を受けたものである。

平成 23 年 2 月 8 日

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム
理 事 会 御 中

監事 寺田 良二



監事 魚住 隆太



私たちは、特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム（以下、同法人という）の平成 22 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日に係る会計及び業務について監査を行い、以下のとおり報告する。

1. 財産目録及び収支計算書は、会計帳簿と一致し、同法人の財政状態及び収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認める。
2. 事業報告書の記載内容は、重要な点において、真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項及び法令・定款に反する重要な事項は認められなかった。

以上

第8期 事業計画・予算書（案）

自 平成 23 年 1 月 1 日
至 平成 23 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人
社会的責任投資フォーラム

平成23年度 年間事業計画(案)

平成23年1月1日～平成23年12月31日

定款第5条に基づく次の特定非営利活動に係る事業を実施する。

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

事業区分	事業名	具体的な内容	運営管理	実施予定時期・回数	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(単位:円)
勉強会・金融機関ダイアログ運営	定例勉強会の開催	SRIに関心のある会員・非会員を対象に、情報交換・意見交換を行なう。毎回、実務家を中心にSRIへの造詣の深い講師を招き参加者のSRIに関する知識を高め、交流の場とする。 【講演内容(予定)】 ・SRI入門(毎春開催/代表理事の水口教授) ・SRIファンドの運用 ・CSR担当者によるCSR活動の取り組み	吉田事務局	2,3月に1度	東京都	10名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	120,000
	金融機関ダイアログの開催	法人会員のSRI関係者(一部個人会員も含む)を対象としたクローズドな会とする。昨今話題となっている第一線で活躍されている専門家を交えて、議論の場を設けることを通じて、 ・金融機関と専門家とのダイアログの推進 ・SRI関係者からのコメントの共有 ・金融機関同士のネットワーク作りを図り、より実質的なSRI普及活動に寄与する。あわせて会員獲得を図る。	鷹羽事務局	2,3月に1度	東京都	10名	SRI関係者及び金融機関	120,000
シンポジウム運営	シンポジウムの開催	SRI普及・拡大の足がかりとなるよう広範なテーマでより幅広い層、多くの人々を集め、SRIの認知を大きく高めるために開催する。(レポートコンテストの入賞プレゼンテーションを予定)	事務局	年1回	東京都	10名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	50,000
レポートコンテスト運営	SRIレポートの募集・審査・表彰	SRI・ESGに関する研究成果が海外と比較して少数に留まる我が国の現状を踏まえ、 ・研究の募集を通じたSRI研究者・従事者の発掘 ・国内外への情報発信によるSRIの認知拡大を目的としたレポートの募集・審査・表彰を行う。 株式会社きんざいと共催(主に広報の支援を依頼)	小野島事務局	通年	東京都	10名	SRI関係者(学生を含む)地域非限定	200,000
ホームページ運営	ホームページの運営・管理	・日本におけるSRIの概要、最新情報等について幅広く多くの人々に中立的な立場から情報を提供する。 ・SIF-J関係者による推薦図書を紹介。 ・会員専用ページで勉強会のレジュメをダウンロード配布。 ・SRI投信・SRI債券のデータ更新(3,6,9,12月末)。	事務局	通年	東京都	2名~	地域非限定、不特定多数	52,000
メールマガジン運営	月刊メールマガジンの発行	・SRIに関するあらゆる情報を無料で頒布することで、SRIに関心を持つ方の裾野を広げ、持続的な情報提供を行う。 ・SIF-Japanの活動のお知らせ、オピニオンリーダーによるSRIに関する雑感、SRIに関する文献情報、関連イベント情報、SIF-Japanの活動報告などをメールによって無料で広く発信する。	事務局	月1回	東京都	2~3名	地域非限定、不特定多数	
	SRI情報	休刊していたマスコミレポートに変わる企画として、2010年9月より連載開始。月1回をメドに、メルマガでSRI情報を配信する。(会員向けサービスに移行の予定)	山本事務局	月1回	東京都	2名	地域非限定、不特定多数	50,000
SRI年報の作成およびその他調査・研究	2011年版・年報の発行準備	1年おきに発行している「日本SRI年報」について、2011年度版の発行準備を進める。年央までに、SRI・CSRの専門家による準備委員会を立ち上げ、執筆をお願いする。年末もしくは翌年初めに発行に当たっての協賛を募る。支出については平成24年度に印刷費・翻訳料など約1,000千円発生する見込み。	事務局	通年	東京都	10名	SRI関係者または関心を持つ不特定多数の人	50,000
コミュニケーション促進	海外との連携を深める	TBL等の会合で海外のSRI関係者が来日する機会があれば、それに合わせてSIF主催のイベント開催を検討する。	事務局	通年	未定	5名	海外のSRI関係者	100,000
	各種制度設計への関与	連合や環境省が策定しているSRI促進のための制度設計に対して情報発信(パブリックコメント等)を行う。	事務局運営委員	通年	東京都	5名	制度設計を行っている各種団体・省庁など	50,000
小計								792,000
各事業推進に係る給料手当て								2,028,000
合計								2,820,000

平成23年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書案

平成23年1月1日～平成23年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

(単位:円)

科目	細目	22年度予算額	同実績	23年度予算額	備考
経常収入の部					
1.会費収入		4,650,000	6,271,000	4,660,000	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口/9会員)	2,200,000	3,600,000	2,550,000	
()内は、期初在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口/4会員)	1,000,000	1,200,000	700,000	
	公的・中間機関会員(1口10万×1口/6会員)	650,000	700,000	600,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口/3会員)	20,000	20,000	30,000	
	個人会員(1口1万×1口/100会員)	750,000	716,000	750,000	
	学生会員(1口5千×1口/10会員)	30,000	35,000	30,000	
2.事業収入		1,280,000	1,090,000	550,000	
	勉強会・金融機関ダイアログ活動	180,000	140,000	150,000	
	シンポジウム活動	300,000	108,000	100,000	
	レポートコンテスト活動			300,000	SRIレポートコンテスト協賛金
	ホームページ運営収入	100,000	0	0	
	SRI普及・啓発活動収入	700,000	842,000	0	
3.雑収入		3,000	1,175	1,000	
	受取利息、雑収入	3,000	1,175	1,000	
	その他収入	0	39,950	0	
経常収入合計(A)		5,933,000	7,362,175	5,211,000	
経常支出の部					
1.事業費		3,650,000	3,346,475	2,820,000	
SRI研究	勉強会・金融機関ダイアログ活動	120,000	129,576	240,000	
情報開示促進	シンポジウム活動	200,000	57,878	50,000	
	レポートコンテスト活動	50,000	0	200,000	
	提携講座(早稲田大学)	50,000	0	0	今年度は講師紹介のみ
コミュニケーション促進	その他イベント活動	0	0	150,000	海外対応・制度設計への関与
提言・情報提供・教育啓発等	ホームページ運営	50,000	39,438	52,000	サーバ管理料
	メールマガジン運営	0	0	50,000	
	金融機関とのコミュニケーション推進	100,000	0	0	金融機関ダイアログ項目へ
	SRI年報2011の準備	950,000	1,091,583	50,000	
	学生部会活動	50,000	0	0	
	給料手当(事業)	2,080,000	2,028,000	2,028,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		2,680,000	2,727,230	2,862,000	
事務局運営費	給料手当	1,120,000	1,092,000	1,092,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	300,000	403,776	420,000	
	旅費交通費	160,000	258,640	250,000	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	支払手数料・業務委託費	300,000	271,218	300,000	会計事務所、司法書士
	通信・印刷・備品等	200,000	101,596	200,000	
経常支出合計(B)		6,330,000	6,073,705	5,682,000	
当期収支差額(A)-(B)		397,000	1,288,470	471,000	
前期繰越収支差額		2,657,230	2,657,230	3,945,700	
次期繰越収支差額		2,260,230	3,945,700	3,474,700	

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム
理事・監事候補者名簿

候補（任期：平成23年4月1日～平成25年3月31日）

役職	氏名（各50音順・敬称略）	備考 個人が所属する組織は会員とは限りません。	報酬	備考
理事	青木 修三	帝京大学	無	再
代表理事	秋山 をね	株式会社インテグレックス	無	再
理事	足達 英一郎	株式会社日本総合研究所	無	再
理事	稲岡 稔	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	再
理事	植原 恵子	株式会社大和証券グループ本社	無	再
代表理事	河口 真理子	株式会社大和証券グループ本社	無	再
理事	木内 孝	NPO法人フューチャー500	無	再
会長	後藤 敏彦	環境監査研究会	無	再
理事	首藤 恵	早稲田大学大学院	無	再
理事	藪田 綾子	株式会社クレアン	無	再
理事	菱田 賀夫	住友信託銀行株式会社	無	再
理事	菱山 隆二	NGO企業行動研究センター	無	再
理事	前田 正尚	株式会社日本政策投資銀行	無	新
代表理事	水口 剛	高崎経済大学	無	再
理事	宮城 治男	NPO法人エティック	無	再
監事	阿部 和彦	株式会社あらたサステナビリティ認証機構	無	新
監事	菅生 直美	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	新

辞任

理事	川合 アユム	株式会社YAMATO	無	
理事	柳 正憲	株式会社日本政策投資銀行	無	
監事	寺田 良二	株式会社あらたサステナビリティ認証機構	無	
監事	魚住 隆太	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	

現理事・監事名簿

参考（任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日）

現在の役職	氏名（各50音順・敬称略）	備考 個人が所属する組織は会員とは限りません。	報酬	備考
会長	後藤 敏彦	環境監査研究会	無	
代表理事	河口 真理子	株式会社大和証券グループ本社	無	
代表理事	水口 剛	高崎経済大学	無	H22年7月より
代表理事	秋山 をね	株式会社インテグレックス	無	H22年7月より
理事	青木 修三	帝京大学	無	
理事	足達 英一郎	株式会社日本総合研究所	無	
理事	稲岡 稔	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	
理事	川合 アユム	株式会社YAMATO	無	H23年3月末辞任
理事	木内 孝	NPO法人フューチャー500	無	
理事	首藤 恵	早稲田大学大学院	無	
理事	藪田 綾子	株式会社クレアン	無	
理事	植原 恵子	株式会社大和証券グループ本社	無	
理事	菱田 賀夫	住友信託銀行株式会社	無	
理事	菱山 隆二	NGO企業行動研究センター	無	
理事	宮城 治男	NPO法人エティック	無	
理事	柳 正憲	株式会社日本政策投資銀行	無	H23年3月末辞任
監事	寺田 良二	株式会社あらたサステナビリティ認証機構	無	H23年3月末辞任
監事	魚住 隆太	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	H23年3月末辞任

運営委員一覧

(敬称略・50音順)

平成22年4月1日～平成24年3月31日

	氏名	所属
1	内田 宏樹	株式会社CSR経営研究所
2	江良 明嗣	日興アセットマネジメント株式会社
3	大竹 大	株式会社アイフィスジャパン
4	小野島 茉莉	日興アセットマネジメント株式会社
5	片口 美保子	ゴールドマン・サックス証券
6	加とう 正法	NPO法人エコキャップ推進協会理事
7	河口 真理子	株式会社大和証券グループ本社
8	黒崎 美穂	ブルームバーグ
9	小樽 雅章	向社会性研究所
10	新谷 大輔	株式会社三井物産戦略研究所
11	相馬 直子	住友信託銀行株式会社
12	鷹羽 美奈子	M S C I
13	竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行
14	平松 宏城	CSRデザイン&ランドスケープ株式会社
15	福吉 隆行	株式会社日本政策投資銀行
16	物江 陽子	株式会社大和総研
17	山崎 明美	日本シェアホルダーサービス株式会社 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より出向)
18	山本 利明	大阪電気通信大学
19	横塚 仁士	株式会社大和総研
20	吉田 哲朗	株式会社しんきん信託銀行

以上20名

は22年度中に新たに選出された委員